

～プロジェクト推進に当たって参考にした主な書籍～

- ・「主体的・対話的で深い学びを拓く アクティブ・ラーニングの視点から授業を改善し授業力を高める」（独立行政法人教職員支援機構編著 学事出版 2018年4月）

【アクティブ・ラーニング】

- ・「アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換」（溝上慎一著 東信堂 2014年9月）
- ・「ディープ・アクティブラーニング」（松下佳代、京都大学高等教育研究開発推進センター編著 2015年1月）
- ・「アクティブラーニング入門—アクティブラーニングが授業と生徒を変える—」（小林昭文著 産業能率大学出版部 2015年4月）
- ・「現場ですぐに使える アクティブラーニング実践」（小林昭文他著 産業能率大学出版部 2015年8月）
- ・「すぐわかる！ できる！ アクティブ・ラーニング」（西川純著 学陽書房 2015年8月）
- ・「今日から始めるアクティブラーニング 高校授業における導入・実践・協働の手引き」（河合塾編 小林昭文、成田秀夫著 学事出版 2015年10月）
- ・「アクティブラーニング」（シリーズ大学の教授法3 中井俊樹編著 玉川大学出版部 2015年12月）
- ・「いまからはじめる アクティブラーニング 導入&実践BOOK」（小林昭文著 学陽書房 2016年2月）
- ・「アクティブラーニング・シリーズ」全7巻（溝上慎一監修 東信堂 2016年3月）
- ・「図解アクティブラーニングがよくわかる本」（小林昭文 講談社 2016年7月）
- ・「『アクティブ・ラーニング』を考える」（教育課程研究会編著 東洋館出版社 2016年8月）
- ・「アクティブラーニング実践Ⅱ～アクティブラーニングとカリキュラム・マネジメントがよくわかる」（下町壽男他 産業能率大学出版部 2016年8月）
- ・「アクティブ・ラーナーを育てる高校—アクティブ・ラーニングの実態と最新実践事例—」（中原淳 日本教育研究イノベーションセンター編著 学事出版 2016年12月）
- ・「インタラクティブ・ティーチング —アクティブ・ラーニングを促す授業づくり—」（栗田佳代子編著 河合出版 2017年2月）
- ・「ひとはもともとアクティブ・ラーナー」（山辺恵理子、木村充、中原淳編著 北大路書房 2017年3月）
- ・「アクティブ・ラーニングの基本と授業のアイデア」（宮崎猛著 ナツメ社 2017年3月）
- ・「最初に読みたい アクティブラーニングの本」（チャールズ・ボンウェル、ジェームス・エイソン著 高橋悟監訳 海文堂出版 2017年3月）

- ・「アクティブラーニング入門 2 -『主体的・対話的で深い学び』をどう実現するか-」
(小林昭文著 産業能率大学出版部 2017年7月)
- ・「学生を自己調整学習者に育てる アクティブラーニングのその先へ」
(L. B. ニルソン著 美馬のゆり、伊藤崇達監訳 北大路書房 2017年7月)

【学習・授業】

- ・『『逆向き設計』で確かな学力を保障する』(西岡加名恵編 明治図書 2008年5月)
- ・「学習する学校」(ピーター・M・センゲ他 リヒテルズ直子訳 英治出版 2014年1月)
- ・「21世紀型スキル 学びと評価の新たなかたち」(B.グリフィン、B.マクゴー、E.ケア編著 三宅なほみ監訳 北大路書房 2014年4月)
- ・「授業を磨く」(田村学著 東洋館出版社 2015年4月)
- ・「たったひとつを変えるだけ クラスも教師も自立する『質問づくり』」(ダン・ロスステイン、ルース・サンタナ著 吉田新一郎訳 新評論 2015年9月)
- ・『『これからの時代に求められる資質・能力の育成とは』-アクティブな学びを通して-」(高木展郎 株式会社東洋館出版社 2016年2月)
- ・「新しい学力」(齊藤孝著 岩波書店 2016年11月)
- ・『『学びの責任』は誰にあるのか』(ダグラス・フィッシャー、ナンシー・フレイ著 吉田新一郎訳 新評論 2017年11月)

【協同学習】

- ・「先生のためのアイデアブック-協同学習の基本原則とテクニック-」(ジョージ・ジェイコブズ他著 日本協同教育学会 2005年11月)
- ・「協同学習の技法 大学教育の手引き」(エリザベス＝バークレイ他著 ナカニシヤ出版 2009年9月)

【反転学習】

- ・「反転授業-基本を宿題で学んでから、授業で応用力を身につける」(ジョナサン・バークマン他著 オデッセイコミュニケーションズ 2014年5月)
- ・「反転授業が変える教育の未来 生徒の主体性を引き出す授業への取り組み」(反転授業研究会編 芝池宗克他著 明石書店 2014年12月)
- ・「アクティブラーニング型授業としての反転授業」(森朋子・溝上慎一編 ナカニシヤ出版 2017年5月)

【学習評価】

- ・「本当の教育評価とは何か」(黒澤俊二 学陽書房 2004年8月)
- ・「テストだけでは測れない! 人を伸ばす「評価」とは」(吉田新一郎著 NHK出版 2006年3月)
- ・「パフォーマンス評価」(日本標準ブックレット No.7 松下佳代著 日本標準 2007年12月)

- ・『主体的学び』につなげる評価と学習方法 カナダで実践される I C E モデル」(Sue Fostaty Young, Robert J. Wilson 原著 土持ゲーリー法一監訳 小野恵子訳 東信堂 2013年5月)
- ・「教育評価との付き合い方 これからの教師のために」(関田一彦、渡辺貴裕、仲道雅輝著 さくら社 2016年2月)
- ・「新しい教育評価入門」(西岡加名恵他 有斐閣 2016年4月)
- ・「成績をハックする 評価を学びにいかす 10の方法」(スター・サックシュタイン著 高瀬裕人、吉田新一郎訳 新評論 2018年6月)
- ・「学習評価」(シリーズ大学の教授法4 中島英博編著 玉川大学出版 2018年6月)

【ファシリテーション】

- ・「ワールド・カフェをやろう！」(香取一昭・大川恒著 日本経済新聞出版社 2009年11月)
- ・「ワークショップ型校内研修 充実化・活性化のための戦略&プラン 43」(村川雅弘編著 教育開発研究所 2012年5月)
- ・「プロセス・エデュケーション 学びを支援するファシリテーションの理論と実際」(津村俊充 金子書房 2012年10月)
- ・「ファシリテーター行動指南書 意味ある授業づくりのために」(中野民夫 監 三田地真実著 ナカニシヤ出版 2013年5月)
- ・「教育ファシリテーターになろう」(石川一喜・小貫 仁／編 弘文堂 2015年2月)

【探究学習、課題研究】

- ・「問いをつくるスパイラル 考えることから探究学習をはじめよう！」(日本図書館協会図書館利用教育委員会、図書館利用教育ハンドブック学校図書館版作業部会編著 日本図書館協会 2011年7月)
- ・「これから研究を始める高校生と指導教員のために 研究の進め方・論文の書き方・口頭とポスター発表の仕方」(酒井聡樹著 共立出版 2013年7月)
- ・『『探究』カリキュラム・デザインブック』(がもうりょうた著 ヴィッセン出版 2017年3月)
- ・「質問する、問い返す 主体的に学ぶということ」(名古屋隆彦著 岩波ジュニア新書 岩波書店 2017年5月)
- ・「月刊高校教育増刊 『探究』を探究する 本気で取り組む高校の探究活動」(田村学、廣瀬志保編著 学事出版 2017年12月)
- ・「探究実践 ガイドブック」(がもうりょうた著 七猫社 2018年5月)